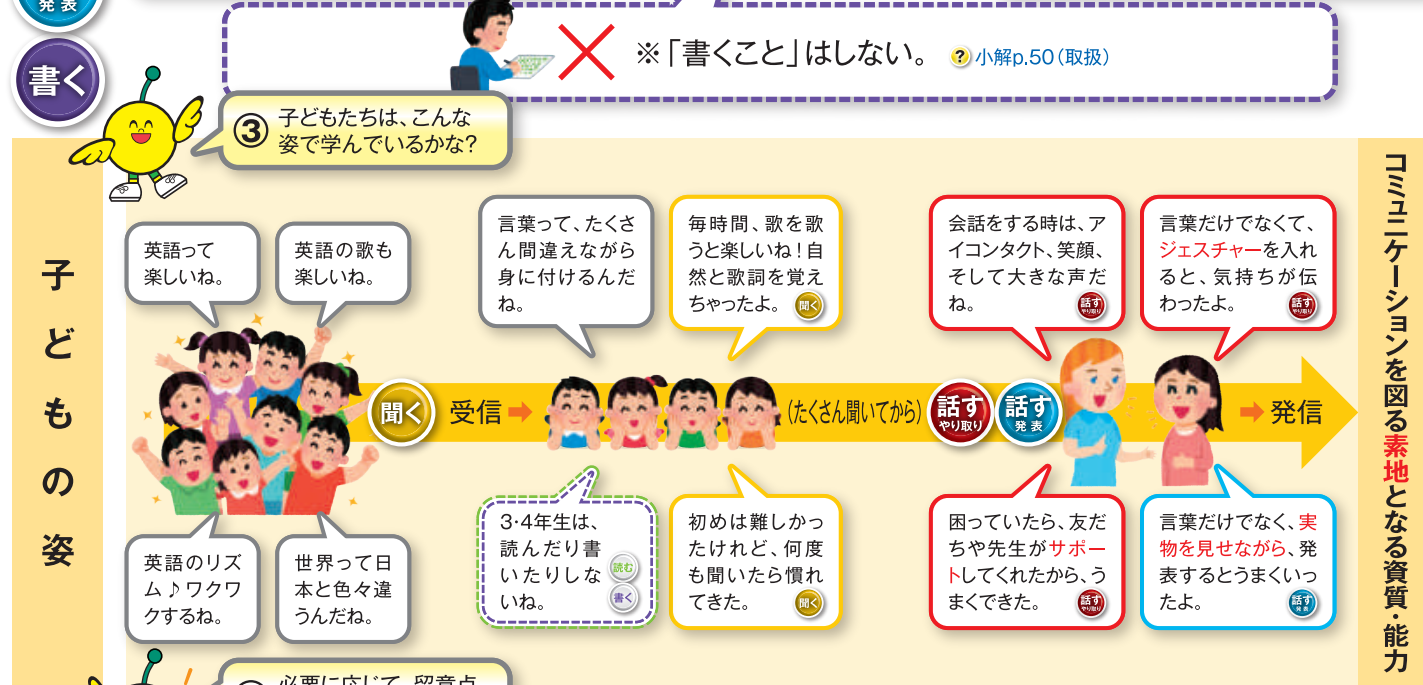


**早期化** (外国語活動) 3・4年生:年間35単位時間  
**小学校中学年** **慣れ親しむ**

① 3・4年生の目標を確認!  
 赤字は留意点にリンク!

**目標**  
 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。  
 (1) 知識及び技能 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。  
 (2) 思考力、判断力、表現力等 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合うかの素地を養う。  
 (3) 学びに向かう力、人間性等 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。



④ 必要に応じて、留意点を確認しよう。

学級担任及び専科教員等が中心/ALT 小解p.48(配慮)小ガp.108,124及びICT 小解p.52(取扱い)小ガp.114の活用

素地 小解p.12,15(目標) ジェスチャー 小解p.51(取扱い)  
 身近で簡単な事柄 小解p.14(目標)  
 慣れ親しむ 小解p.14(目標)小ガp.160  
 相手に配慮 小解p.16(目標)  
 動作を交えながら 小解p.21(目標),32(活動)  
 サポートを受けて 小解p.22(目標),33(活動)  
 人前で実物などを見せながら 小解p.23(目標),33,34,35(活動)  
 文字 小解p.50(取扱い)

⑤ 高学年へ接続のため、長期的に育てよう。

早期化に対応した 英語への十分な慣れ親しむ 小ガp.160

小学校中学年における「読むこと」及び「書くこと」を含めた5領域での学習を見据え、「聞くこと」及び「話すこと」について楽しい体験的活動を通して、あせらず音声で十分に慣れ親しませることが重要である。

**教科化** (外国語科) 5・6年生:年間70単位時間  
**小学校高学年** **身に付ける**

① 5・6年生の目標を確認!  
 目的・場面・状況が追加!

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。  
 (1) 知識及び技能 外国語の音声や文字、語彙、表現、文法、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付く。これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しむ。聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。  
 (2) 思考力、判断力、表現力等 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりして、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読み取り、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。  
 (3) 学びに向かう力、人間性等 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。



④ 留意点を確認しよう。初見では書かないよ。

学級担任及び専科教員等が中心/ALT 小解p.128(配慮)小ガp.108,124及びICT 小解p.131(取扱い)小ガp.114の活用

基礎 小解p.68,70(目標)  
 身近で簡単な事柄 小解p.70(目標)小ガp.160  
 慣れ親しむ 小解p.71(目標)  
 その場で整理した上で書き写す 小解p.80(目標),107(活動)  
 書き写す 小解p.81(目標)  
 音声で十分に慣れ親しんだ 小解p.81,111,112(活動)  
 ローマ字へボン式 小解p.71,78,81,82(目標),105,111,112(活動)  
 語順を意識し、書き写す 小解p.72,82(目標)  
 他者に配慮 小解p.74(目標)

⑤ 中学校へ接続!英語が大好きな子どもに!

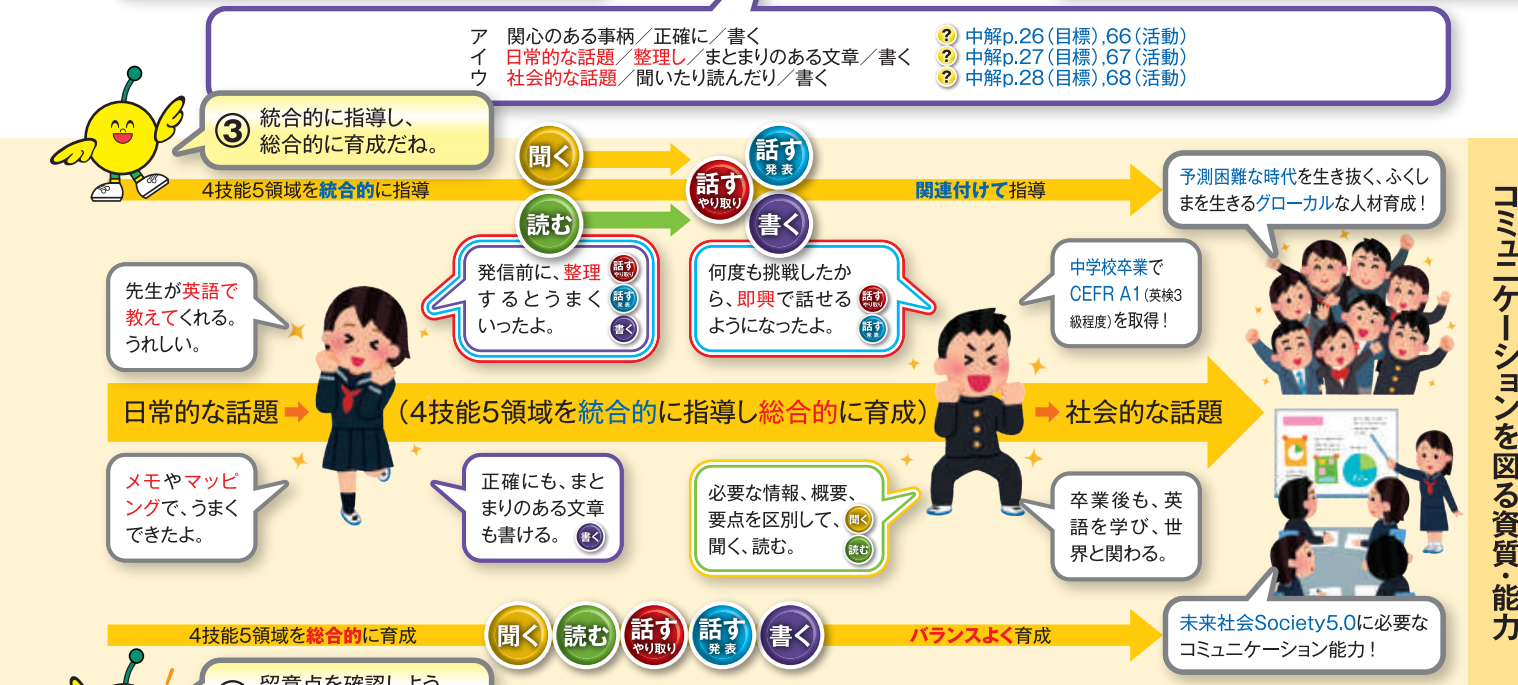
早期化に対応した 英語への十分な慣れ親しむ 小ガp.160 / 教科化に対応した 評定を見据え確実な習得 小ガp.160

小学校中学年における慣れ親しみを素地として、特に引き続き「読むこと」及び「書くこと」においては、音声で十分に慣れ親しんだものを取り扱うとともに、教科化に対応した評定を見据えて、確実な定着を図る必要がある。その際、定着を過度に求めるあまり、単なる機械的な反復練習に終始することなく、中学校段階へと円滑に接続できるようにする。

**高度化** (外国語科) 年間140単位時間  
**中学校** **活用する**

① 中学校の目標を確認!  
 活用することが必要!

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合うためのコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。  
 (1) 知識及び技能 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。  
 (2) 思考力、判断力、表現力等 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合うことができる力を養う。  
 (3) 学びに向かう力、人間性等 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。



④ 留意点を確認しよう。筆記体・発音表記は?

教科担任等が中心/ALT 小解p.89(配慮)及びICT 小解p.96(取扱い)の活用

日常的な話題 小解p.14(目標)  
 社会的な話題 小解p.14(目標)  
 マッピング 小解p.69(活動)  
 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮 小解p.15(目標) 授業は英語で行うことを基本とする 小解p.86(配慮)  
 発音表記 小解p.81(目標) 小解p.82(取扱い)  
 即興で 小解p.22,25(目標),61,64(活動) 小解p.92(取扱い)  
 メモ 小解p.25(目標),55,57(活動) 小解p.92,93,94(取扱い)  
 整理し 小解p.23,25,28(目標) 小解p.95(取扱い)  
 文法事項 小解p.36(文法) 辞書

⑤ 上級学校へ接続!義務教育修了時をイメージ!

高度化に対応した 英語の活用 / 上級学校の高度化・多様化への準備

中学校英語教育の高度化に伴い、文法事項及び語彙の増加に適切に対応できるように、中学校卒業時までの単元計画等を適切に作成すると、上級学校においてのさらなる高度化及び多様化に円滑に接続する。 小ガp.160,182中解p.82(配慮) ※ 文法事項の増加については、主に感嘆文のうち基本的なもの、現在完了進行形、仮定法のうち基本的なものなど。(その他6ヶ所にも留意)

**参考** 学習過程(例) 小解p.58(取扱),71(目標)中解p.13(目標)

最初は授業の流れを固定して「主な活動」を工夫しよう。

① あいさつ 英語教室に移動したり、休み時間からBGMを流したりなど、英語の雰囲気づくりに挑戦!

英語の世界へ 例) 日付、曜日、天気、時間 今日も英語楽しみなな。ワクワクするね。 家庭学習もバッチリ!

② ウォームアップ 小学校ではSmall Talk及び絵本、中学校では語彙強化の帯活動等を継続、計画的かつ短時間で!

主な活動へ関連付け 例) 帯活動、ゲーム、前時までの復習 Small Talk 小ガp.84,130 歌、チャンツ 小ガp.105 絵本 小ガp.106

英語スイッチ(例) 3E:笑顔、Enjoy、エネルギー) オン!  
 英語で授業をしよう。(English Richな授業を目指そう。)  
 小学校児童の実態に応じて、できるだけ英語で授業を行う。 小ガp.118  
 中学校:英語で授業を行うことを基本とする。 中解p.86(配慮)

③ 目標等の共有 やり取りを通して、めあてを児童から引き出したり、課題を生徒に気付かせたり工夫!

学びの地図 例) Teacher Talk(教師の口頭導入) 単元はこんな流れで、今日はこれをクリアだ。 どうやったら、いいかな? 例) CAN-DOリスト

④ 主な活動 理解・練習のよさ、言語活動のよさ! 両者をバランスよく組み合わせる! 目的・場面・状況!

例) 理解・練習 (組み合わせる等) 例) 言語活動 (WHY?)

「目的」「場面」「状況」を重視し

(1) モデル提示(教師の見本) I like Fukushima. (1) 言語活動①(目的・場面・状況) 1回目の言語活動に挑戦

(2) 繰り返し練習①(リピート) I like Fukushima. (2) 振り返り①(気付き) 共有:気付き改善

(3) 繰り返し練習②(単語を替えて) I like Tokyo. (3) 言語活動②(目的・場面・状況) 2回目の言語活動に挑戦

(4) 会話練習(コミュニケーション) A: I like Hokkaido. B: I like Chiba. (4) 振り返り②(価値付け) 共有:価値付け整理

先生の真似をしたり、繰り返し練習したり、初めはなかなか話せなかったけど、英語に慣れてくる。早く自分の気持ちを英語で、笑顔にしたいな。

さっき気付いたことは、こういうことだったのか。英語は間違いを恐れないで、徐々に、正しくよう。

⑤ 振り返り 「楽しかった!」に加え、言語面・内容面の振り返り、学びの振り返り(学びのメタ認知)が大切!

例) 振り返り(CAN-DOリスト) 例) 別の場面でも使いたいな。例えば……。 「●●」って、英語で言いたかったけれど、言えなかった。調べてみよう。 例) 「今日学んだことは何ですか?」 例) 「今日できるようになったことは何ですか?」 それができるようになったのはなぜですか?

⑥ あいさつ また英語を学習したくなるような笑顔! 授業後も英語のBGM等! 教室から出るまで英語!

※主体的・対話的で深い学び 小解p.42,121(配慮)小ガp.54,88,156中解p.82(配慮) 授業スタンダード

先生方の素敵な授業で、子どもたちを笑顔にしよう。